

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組：川杉哲示）

使用教科書：（新編言語文化（大修館書店））

使用教材：（なし）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	国語科ガイダンス ・国語科の目標や授業を受けるために知っておかなければならないことについて理解を深める。	・言語文化の目標（上記） ・プリント教材 ・一人1台端末の活用				【知識および技能】 ・国語科の目標や毎時間用意するもの、授業の進め方、評価方法、授業のきまり（各教科共通）等、授業を受けるために知っておかなければならないことについて、理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言語文化の授業の開講にあたり、意欲を持って主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	ことばと出会う 季節の言葉と出会う（黛まどか） □日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 □季語に興味をもつとともに、日本独特の自然の味わい方について、自分の考えを深める。	・季節の言葉 ・プリント教材 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な自然観や美意識について筆者の主張をとらえることに興味をもち、季語や日本独特の自然の味わい方に対して関心をもとうとしている。	○	○	○	4
	古文に親しむ 古文への招待 いは歌／古文冒頭選 □古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 □受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 枕草子 春はあけぼの □繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 □作者のものの見方や感じ方について、自分の考えを持つ。	・歴史的仮名遣い ・プリント教材 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	定期考査答案返却・解説						○	○		1
	文化祭企画「みんなの川柳」作品創作 ・夜の学校、家族のスナップ、働く高校生、青春の自画像、日常雑感などのテーマで川柳を創作し、文化祭	・川柳の創作 ・プリント教材 ・一人1台端末の活用				【知識および技能】 ・川柳の無季定型の詩形、喜怒哀楽やユーモアを旨とする内容について、理解を深めている。 【思考力 判断力 表現力等】				

	で発表し、相互に批評する。			○	<ul style="list-style-type: none"> ・川柳の創作と発表を通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・他者の作品を鑑賞し、深く共鳴したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に川柳を創作し発表することで、表現活動を楽しんでいる。 	○	○	○	4				
	漢文に親しむ 訓読のきまり／格言 □漢文の訓読のきまりについて理解する。 □漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 再読文字 □漢文の訓読のきまりについて理解する。 □漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読のきまり、格言 ・再読文字 ・プリント教材 ・一人1台端末の活用 			○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	6			
	定期考査								○	○	1		
	定期考査答案返却・解説								○	○	1		
	読書指導 ・テーマを決めて探究的に読書をし、自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的読書 ・プリント教材、図書館の書籍 ・一人1台端末の活用 			○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・一つのテーマについて探究活動を行うための読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一つのテーマについて深く探究し、自分の考えを的確にまとめ、適切に表現している。 ・作品を鑑賞し、深く共鳴したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。 ・読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 				○	○	○	4
2 学 期	表現を味わう とんかつ（三浦哲郎） □登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 □語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・とんかつ（三浦哲郎） ・プリント教材 ・一人1台端末の活用 			○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。 				○	○	○	8

<p>随筆を楽しむ 徒然草 高名の木登り □音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 □作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徒然草 ・プリント教材 ・一人1台端末の活用 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。 	○	○	○	6
定期考査								1
定期考査答案返却・解説								1
<p>現代に生きることば 守株 □「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 □この話で語られている教訓の意義を理解する。 五十歩百歩 □「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 □この話で語られている教訓の意義を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語 ・プリント教材 ・一人1台端末の活用 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	6
<p>物語を受け継ぐ 羅生門（芥川龍之介） □小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 □元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・羅生門（芥川龍之介） ・プリント教材 ・一人1台端末の活用 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 	○	○	○	6
定期考査								1
定期考査答案返却・解説								1
<p>読書指導 ・テーマを決めて探究的に読書をし、自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的読書 ・プリント教材、図書館の書籍 ・一人1台端末の活用 			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのテーマについて探究活動を行うための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのテーマについて深く探究し、自分の考えを的確にまとめ、適切に表現している。 ・作品を鑑賞し、深く共鳴したり豊かに想像したりする力を伸ばしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。 ・読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 	○	○	○	4

